

# 東芝テックOB会だより

第26号

2013年7月15日



## 会員の広場



### 駒井社友お別れの会開催

OB会会員で当社社友の駒井喜雄氏（元代表取締役社長）が本年1月27日に102歳にて永眠され、葬儀は近親者のみの密葬で執り行われましたので会社と東芝テック関係者有志一同が発起人となり、去る、5月31日、日本工業倶楽部にて、「駒井社友お別れの会」を開催しました。

尚、会員の皆様には諸般の事情を勘案した結果、ホームページでお知らせしました。

### 「駒井社友の思い出」 ～土屋 孝一さん～

駒井社友から、この正月に何時もと変らぬ年賀状を頂き、百歳も己に越えられた筈お元気で良かったと喜んでいた矢先の御訃報に接し驚きと共に温顔で茲父宛らの社友の面影が髣髴と蘇り、悲しみで心が一杯になりました。

駒井社友が社長として御就任された頃、私は三島工場の電子機器部門を担当させて頂いて居ましたが直接の上司は高橋（保）取締役で秋津常務の上の駒井社長は正に雲の上の人、直接お話出来たのは工場会議と新製品開発会議の席上で種々御報告や御指示を頂く時だけでしたがその中で印象に残っているのは、東芝電子レンジ用のセラミックコンデンサーの量産（月産五万ヶ）が始った当初原因不明の不良品続出し東芝納入が滞った時社長自ら毎日生産数をフォローし叱咤激励された事です。これは社長が理工系御出身で東芝で若き技術者時代にレントゲン等放射線研究に従事され多くの論文も残された方で、電子レンジやセラコンに就いて技術的にもお詳しく関心深かったからだと拝察いたします。



私は駒井社長が現役を退かれ社友となられてからも何かと御薫陶を受けました。

私は昭和五十八年より三島→東京→秦野→三島→本社→（株）不二研へと転任の都度社友に自家用の優雅な便箋に達筆な字のお手紙を頂きました。三島へ戻った時には「三島工場は楽しみなもの次々と持っている。計量器など世界に冠たるものに仕上げよ」不二研転出の際は「私が東芝から来た時は東芝納入製品外の戦略商品は元気がな

かった。不二研もコンデンサーだけでなく将来会社を支える分野を開拓しなさい」と。

私が駒井社友の御功績を云々する事は大変おこがましく失礼かと思いますが、私なりに感じていますのは照明・家電と並び第三の柱の戦略製品（電レジ・秤・POSシステム等）を完成させ世に出



駒井喜雄氏作

す為に、技術開発製造を秋津、営業販売を洲崎の両専務といわば車の両輪に、推進され更にはその販売会社としてテック電子、サービス会社等次々と創設されて現在の東芝テック成長と繁栄の基礎を築かれた事と思います。

駒井社友のお人柄は皆さんよく御存知の通り、温かく人間味溢れよく二五会やOB会の乾杯の御挨拶の中で話されたのは社友の愛読書「菜根譚」という中国の人の道を説いた古書から引用され、心に沁みるお話でした。過日「偲ぶ会」の席上で御遺族の方が父は絵を画くのが好きだったと言われましたが、作品を御覧になった方は少いでしょう。私は時々俳画的な水彩画の絵葉書を頂きましたが、こうした仕事以外に巾の広い才能をお持ちで、又会社や御家庭の中でも電子機器のようにハードとソフト、つまり厳しさと優しさを併せ持たれた方と今も雲の下から尊敬しています。

最後になりましたが、在りし日の駒井社友を偲びつつ、更めて御冥福をお祈り致します。

## 日々のコト… ～鈴木 重貞さん～

白む外窓を開ければ新緑の目に浸むゴーヤ清し風よし 7月30日

去年まで、ゴーヤ緑のカーテンはプランター栽培イマイチで、「来年こそは」を繰り返してきた。

今年は露地栽培に挑戦、1株の苗に自製の秘伝堆肥も鋤込み、更に枝豆・落花生を混植。

最初はチョロチョロと風に揺れていたが、葉を増やし蔓伸びる程元気に、もう屋根まで伸びた。

早朝に窓開ければ新緑の葉を通し、清しい風が心地よい。雌花が咲き、小指ほどの実をつけている。去年は3本しか採れなかったが、今年は10本は行くかな…収穫が楽しみだ。

チビゴーヤ知らず知らずに膨らんで早く採らねば黄色く開く 8月30日

数日前には7・8本目のチビのゴーヤが仲良く並んでぶら下がっていた。

今は30cm超えの堂々たる存在感を誇示。棚竿陰の手の届かぬところのものは気になり梯子登りて見たら、黄色く熟し茄で蛸足に開いてい

た。ポタリと落ちた赤い種は来年の種まき用に使おう…。そして、この実りし7・8本目は今夜は豚肉との妙めものにして、ビールに添えて楽しみにしよう。よしよしと2本を採る。

…結局、今年は20本採れそう。ゴーヤ緑のカーテン大豊作の年でした。 9月10日

ペチュニアの淡いピンクの花よ花花幾度咲き季節移ろう 8月20日

時の移ろい感じさせぬが如く、可憐な花が咲き続けている。ゴーヤ棚の脇に、妻がプランターに2株植えたが、ゴーヤは緑の葉・ペチュニアはその下で淡いピンクの花…小さな庭に、まこと感じよく納まり、早朝に窓を開けて小さな庭を見るのを好きにさせてくれる。

片すみに可憐美しペチュニアよ我も咲けるか君の如くに 9月11日

区有林視察歩けば鳥鳴きて頬を撫で行く稜の風が 8月19日

葡萄狩り棚下妻は生き生きと巨峰2房ニコニコペろり 9月4日

鍬振るい 150 坪畑仕事天地の恵み楽しく感謝 9  
月 15 日

朝晩は飼い柴犬ハチを連れ、近くの里山里田  
を散歩。地区の役員としてささやかな奉仕、風  
光明媚なこの地区…愛鷹山・須津川溪谷及び下  
流の沼川周辺を保全、地区の良き人たちと親睦  
する。畑で四季折々の無農薬野菜を育て、妻の  
手料理で美味しく食す喜びを感じ、家では時々  
蕎麦を打ち・舌鼓。PC相手に奮闘(経済分析等)。

もう今日も暮れてしまうのか…の日々のコト  
です…。

日々のコト無明に生きて想うこと見しを詩歌に目

指す大海 9月 15日  
以上



## 近況報告 ～平瀬 晃造さん～

私は、東京電気(株)目黒工場に入社して数年  
後に当時の本社技師長室に転勤となって以来、60  
歳の定年退職後は東芝グループの特許専門会社に  
勤務し、昨年4月には個人事業主となって、これ  
まで46年間にわたり特許関連の仕事が続けてく  
ることができました。この間、東芝グループの新  
技術(発明)に関する特許業務に関与させていただ  
いたことに深く感謝をしております。

趣味のゴルフは、現在シングルプレーヤへの復  
帰を目指して、月2～3回は近隣のコースやコン  
ペでクラブを振り回しています。また、5～6年  
前に旅先で知合った4組の夫婦との国内外旅行  
や、借地約40坪の家庭菜園などを楽しんではい  
ますが、近年特に熱中しているは、次のような実り  
が嬉しい果樹栽培です。

我が家の狭い庭には、数種類の果樹が植えてあ  
りますが、これらの木々に接木をして季節ごとの  
果実を収穫しています。例えば、1本の富有柿の  
木には、百目、新秋、禅寺丸、松本早生、太秋な  
どの品種を接木してきましたので、昨秋は10月  
初旬から12月中旬まで、品種ごとに熟していく  
これらの甘柿を順次収穫して、それぞれの異なっ  
た味覚を十分楽しむことができました。今春は新  
たに入手した甘秋、夕紅、および干し柿用の蜂屋  
などの接木を行う予定です。

また、温州みかんの木には、3年前からデコ  
ン、はるみ、せとか、レモン、夏みかん、清美、  
プチマル金柑の接木(緑接ぎ)をしてきました。  
さいたま市でも日当たりが良ければ気候的に問題  
がないようですので、今年から順次これらの収穫

を見込んでいます。

さくらんぼの木には、これまで佐藤錦、正光錦、  
高砂、紅秀峰、アメリカンチェリーを接木しまし  
た。昨年の収穫量はまだ十分でなかったのですが、  
今年からの収穫に期待しています。

巨峰ぶどうの木には、他の木と同様に数年間の  
失敗を経てようやくピオーネの接木(緑接ぎ)に  
成功しましたので、今後さらに多品種の接木を考  
えています。

これらの果実は、家庭菜園で育てた野菜と同様  
に、農薬の心配をせずに家族で美味しさを味わう  
とともに、隣近所にも差上げて大変喜ばれていま  
す。

果樹に興味のある方は、いろいろな接ぎ木をし  
て季節ごとの収穫を楽しんでみませんか。



## サイクリングの楽しみ ～中田 修二さん～

1993年1月駐在先のドイツ・デュッセルドルフで、“三友会”（三井グループ）の新年会が日航ホテルで開催されました。その折、ビンゴゲームがありました。私にとって生まれて初めての経験でしたが、なんと2番目に完成し、ご褒美としてフランス製の自転車が当たりました。その年の春帰国し、この自転車に乗って漕いでみると、実に軽くすいすいと走ります。自転車は“走るもの”だということを実感しました。

その後毎週末サイクリングを続けているうちに、ドイツでも日本でも悩まされていた腰痛がほとんど無くなりました。近所の図書館にある全ての自転車の本を読み、また神田の本屋でサイクリングの本を買い読み耽りました。そしてサイクリングが健康に良いことを知りました。

ある日千葉県印旛沼をサイクリングしていたとき、オランダから移設した風車のある休憩所で、日本サイクリング協会（Japan Cycling Association、略称JCA）のパンフレットを入手しました。レースや競輪とは異なる“サイクリング”の文字に惹かれて入会しました。サイクリング協会は北海道から沖縄まで各地にあり何処で入会しても同時にJCAのメンバーになる仕組みになっています。2005年1月東芝テックを卒業後もサイクリングを続け、現在東京サイクリング協会（TCA）の監事を仰せつかっています。

昨年（2012年11月）の東芝テックOB会の折、お世話になった元社長の森さんから、「自民党総裁の谷垣さんは大学の親しい後輩だよ。彼はJCAの会長もしているね」というお話を聞いてびっくりすると共に嬉しく思いました。数年前、我々と同じく自転車大好き人間の谷垣さんに、JCA会長職をお願いして承諾して頂いた経緯があるためです。人の繋がりというのは不思議なものですね。

TCAは一年中いろいろな活動をしています。協会メンバーのためのサイクリングイベントは勿論、他にも例えば、サイクリングインストラクターの資格を持っている我々仲間のボランティア活動の一環として、東京都盲人福祉協会（都盲協）に協力して、日曜日年5回皇居パレス／神宮外苑でタンデム（二人乗り自転車）を利用し、視覚障害者とサイクリングを楽しんでいます。既に23年継続し昨年都盲協からTCAに感謝状が贈呈されました。

最近TCAの仲間と海外サイクリングも始めました。2011年はドイツメルヘン街道を、2012年はドイツロマンティック街道をサイクリングしました。ドイツはサイクリングに優しい国です。因みに日本では自転車道は約4千キロしかありませんが、ドイツには5万キロ以上あります。またJCAの会員数は約2万人、全ドイツ自転車協会の会員数は12万人です。ドイツでは自転車はサッカーと並んで2大スポーツの一つです。

TCAの標語に“サイクリストの五楽”というのがあります。①輪楽・自転車を楽しむ ②行楽・旅を楽しむ ③道楽・道を楽しむ ④友楽・友と楽しむ ⑤遊楽・遊びを楽しむ。

私にとってサイクリングとは体育と文化を融合したものの、即ち“文化的スポーツ”です。サイクリング協会というボランティアを通して社会に貢献することの意義を痛感している毎日です。理解を示してくれる家族に感謝すると共に、サイクリングを契機とした出会いに感謝しています。

※JCAとTCAのHPのURLは次の通りです。

JCA: <http://www.j-cycling.org>

TCA: <http://tokyo-cycling-association.com>



愛車でサイクリングホームコース上にある印旛沼のオランダ風車を訪問



東芝テックドイツ勤務の谷萩さんと元後任社長のDr.ポ  
ルッシュさんと共にアウグスブルク市のホテル前にて



ロマンティック街道ネルトリンゲン市の塔の上から旧市  
街を望む

## 私の近況報告 ～土屋 敏郎さん～

昨年高齢者3千万人の仲間入りをしました。退職後、新潟県境に近い信州の実家に帰り少しばかりの農家生活をしております。

勤務半ばで父親が亡くなり昨年その33回忌を終えた。もともと果樹主体の専業農家の長男でしたので、田畑耕作の大半を他人にお願いしながら、東京電気、テック電子、東芝テック、テックエンジニアリング各社の経理主体、東京での仕事をさせて頂きました。退職と同時にそれまでと全く異なる、仕事、田舎生活となりましたが、40年近くも実家を離れていましたので、全てが井の中の蛙で、農業も素人、農器具も無し、人間関係も近所以外は皆無に等しいところからスタートをしました。

とりあえず、軽トラック、耕運機、草刈り機、消毒器など揃えて出来るところから始めたのですが、桃、リンゴ、ブドウ、の果樹類は自分の体調、技術力の無さもあって、現在も他に耕作をお願いしています。

そんなわけで、自分で耕作は、水田2反歩(20アール)、野菜畑2反歩(作付けはアスパラ他、野菜類全般)の家庭菜園の延長というところです。

朝は、明るくなるのを待って田畑に出て、暑くなって来たら帰宅、午後は涼しくなったの農作業という日々ですが、毎日の仕事という耕作量でもありませんし、採算となるとむしろ持ち出しのお百姓です。

最近の農家は近隣でも高齢化、後継者のサラリーマン化で手が回らず荒廃地が増加して来ておりますし、農業法人の大規模農業者に全てを預けるケースも多く、我が家もこの先はどのような事か

という状況です。

過去、何も地域貢献、役をこなしてこなかったせいもあって、諸役がどっと来ましたが、時の経過と共に長と名のつく要請が出てきてなんとかご勘弁願いたいというのが最近の心境です。

友人の勧めもあって河川漁業組合に入り、冬の禁漁期を除いてあちらこちらの川釣りに出かけています。幸いにして10～20分も車を走らせると山間部に入るので、早朝、夕方の時間をみながらヤマメ、イワナ、里川での放流時のニジマス釣りで時を過ごしています。

そのほか、カメラ、庭木剪定、市の公園管理(植栽、花木のボランティア)など、平平凡凡な毎日を送っております。

最後に、OB会の益々の発展と、皆様のご健康を祈念申し上げます。



## 人生の長旅今昔 ～飯岡 英仁さん～

### ●時には昔の話を

私は、昔「東芝総合研究所」、「東芝生物物理化学研究所」、集排法により「東芝製薬(株)」縁あって、昭和28年「東京電気(株)目黒」にお世話になりました。

昭和26年当時、東芝は、何処の工場も仕事量が少なく、小向ではラジオ(高周波1段)を量産体制に入る寸前だったと思います。あの不景気な、さなか、私は東芝の水泳部に所属し、三工場(堀川町、柳町、小向)とも25mプールの水は電力不足の折柄、2、3年に1回の取り替え、毎年セメント袋、2、3袋、塩素系の消毒薬を投入します。元々、プールは専用でなく戦時中は、防火用水兼用で造られたのか、水深は可なり深く、水を取り換える年には、ウナギ、鯉、蛙、の顔が見られました、何処から舞い込んで来たのでしょうか? こんな光景、昔物語です。

会社の不景気な時期、水泳部が、対外試合に出掛ける時は、部の役員の方の努力により、交通費、宿泊費など支給されました。又当時、成長企業であった日本鋼管、昭和電工などの、チームは素晴らしい、ユニホーム、バックなど新調し、羨ましく思った事が有りました。水の好きな私は、その後も伊豆半島の稲取、土肥、今井浜、茅ヶ崎海岸の全域、平島、烏帽子岩、江の島の岩場、それに日本海の三国、小浜、等、綺麗な海中を散歩し、海の生物、特に「箱ふぐ」などと戯れた思い出が甦ってきます。

### ●旧き良き故郷の風

私の故郷は福井の越前大野、北陸の小京都と云われ、土井藩4万石の城下町に、生まれ育ちました。

平成2年、退職後は、毎年5月に500kの道のり、東名、北陸高速を車を走らせて、途中、城、史跡などを見学し、兄弟や幼な友達が温かく迎えて呉れる、ふるさとに半月程、滞在し、熊避けに笛を吹き乍ら、ゼンマイ、ウド等、山菜採りに、ウグイスの声、せせらぎの音を聞きながら、自然を満喫し、また大昔は恐竜が生息していたと云われ、化石が多く出土する山へ、1級の縄文土器の調査や、西暦790年以降の、故郷の歴史を調べ、貴重な時間を過ごしました。

### ●茅ヶ崎での動き

下記の4点は1昨年報告済みです。

- 市内の中学校へ(13年間) 総合学習、市内の、鎌倉、江戸時代の歴史、史跡等、
  - プロ野球中日の山本昌君の母校へ行った時、わが家へ遊びに来た時、色紙を置いて行った、同じものが、額に飾ってあった。
  - 最初の受け持った生徒はもう立派な、社会人になっている事でしょう。
- 考古学(10年間) 発掘方法、遺物処理から展示までの全工程を習得。  
思い出、遺物、展示会場で衆議院議員の茅ヶ崎出身社会党の「加藤万吉」氏に出土遺物の説明が出来た事。  
現在でも市、県、国は上野の国博で毎年前年度に出土した遺物を展示、発表会を開催して居り、それに参加して居ります。
- 文化資料館(江戸時代の古民家で) 民俗行事
- 茅ヶ崎市より表彰

### ■市内の体操クラブに(週1)(23年間在籍)

- 会員と登山、散策(燕岳、立山、安達太良山、大山、金時山、尾瀬、等、他13ヶ所へ)
- 東北震災の際、体育館で救援募金を、先頭に立ち箱作りから、音のしない  
お金をと呼び掛け39万余円の浄財は、相馬の桜井市長に届けました。

- 仏門(月イチ) 市内の一番古いお寺(浄土真宗)でお経をあげ、法話を聴聞し、真宗宗歌を歌い、両手を合わせて居ります。(お経は、小学3年の時に故郷のお寺で習得)

### ■音楽関係

- ♪混声合唱団(華舎)に入会(指揮者現国立大の教授)
- ♪藤沢音楽家の自宅で個人レッスン(13年間)(録音テープ130枚保存)
- ♪旧子爵土井家で(年3)ハープホームコンサートに招待(ご主人がハープ奏者)
- ♪故郷出身のクラシック女性歌手のコンサートを故郷の友人と応援を兼ね、音楽鑑賞を客席で。(サントリーホール、ニューオータニ、イイノホール、等々)

## ●文化資料館と活動する会

- 自然部会。 植物、昆虫、鳥、調査（観察会、自然教室）
- 考古部会、 市内外、遺跡の研究、調査
- 民俗部会 石仏調査（週2）古民家で民俗行事の再現。

市文化資料館を拠点に3部会（約60名）が活動して居り、文化資料館調査研究報告書を各部で発行し、蔵書として市の図書館に保管されて居ます。パソコンで「飯岡英仁」と検索して見て下さい。

3部会を一時期（3年間）私が面倒をみた事が有りましたが、それは、毎回が大変でした。会員は大中小学校の元教師や、中には歌手の桑田佳祐、中学時代の担任教師も会員です、その他、市の元部課長も、今は素晴らしい人に、恵まれ、民俗部会の一員として、石仏（道祖神、庚申塔、地藏菩薩、馬頭観音）調査で社寺、路傍など仲間と自転車や市の車で廻り、楽しんで居ります。

先日は、市民30名を集め、「ちがさきの石仏と社寺を訪ねる」ガイドランスを終り、近々、現地をガイドする事になって居ります。

## ●雑学

また径路の変わった方に、日本の海上自衛隊を引っ張って来られた方、Y氏、（海将、昔の中将です）私が、会の役を、引き受けた頃、入会され、いつの間にか、私と弥次喜多の間柄となり、大磯の吉田邸内（火災前）を見学したり、江の島、金沢文庫、称名寺、等、数々の史跡を散策して居ます。

### ♥三笠艦乗務員

Y氏と、茅ヶ崎駅付近で毎月、食事をします、或る日、会話のなかで、わが家の先祖に、日本海海戦で三笠艦に乗っていた話をしたところ、その場で、Y氏は、三笠艦に電話を入れ、その、状況報告が2日後に私の手元に届きました。驚きましたね、黄海海戦に参加していたり、一兵士の略歴等が、事細かく、こん日まで「記念艦みかさ」に保存されて居るとは。

### ♥203高地の火箸

Y氏、奥さまの友人で伊藤博文のお孫さんが、茅ヶ崎海岸に住んで居られ、火箸1対とメモが、私の手元に届きました。そのメモに

はお孫さんの住所、氏名、電話番号、と次のような要件が記されておりました。

「日露戦争、203高地の戦いで、従軍した日本兵の中に鍛冶屋さんが居て、ロシア軍の鉄条網を占領後、火箸にした、それを伊藤博文が貰い受けたもの」と書かれており、1ヶ月間、お預かりしました、色々古文書など調べたり、鉄分の分析など考えたが、決め手がなく、力及ばず丁重にお返ししました。

## ●ちがさき丸ごとふるさと発見博物館

本市（茅ヶ崎）全域を、建物の無い博物館と見立て、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材などを抽出し、これらの都市資源を活用を図る、茅ヶ崎のエコミュージアム事業の会員として活動して居ります。（月2）

### 若狭小浜の歴史文化。人は海のある奈良と云う

学習会で昔、日本の表玄関と云われた、文化財の宝庫、国宝の街、福井若狭を1時間半に亘って話をした。

席上配布した資料、話の内容

- ♥奈良の法隆寺、東大寺クラスの寺院は小浜にも、4つあり、奈良時代の国宝の仏像も多数
- ♥小浜と茅ヶ崎、文化財の比較
- ♥鶴の瀬 奈良東大寺二月堂、お水送りの行事
- ♥若狭鯖街道の起源
- ♥食文化の宝庫、「御食国」若狭名の木簡が藤原京、平城京から多く出土している
- ♥日本で初めて黒象、クジャク、オウムが上陸した。応永15年（1408）インドネシア南蛮船で
- ♥いま話題の原発が若狭に13基、原発銀座と云われている

.....  
残り少ない人生、健康で楽しく生きたいものです。

ふるさとが縁で仲間が一人増えました、或る人が、突然、私に「飯岡さんの故郷は越前大野ですか」と尋ねられ、事情を聞いて見ると、城郭めぐりが大好きな方で大野城にも足を運ばれたそうで、数年前までは、副市長をされ、年齢は一回り余違うが、今は気が合い、カラオケなどへ出掛けています。

最後に、OB会の益々の発展と、会員の皆さま方の健康とご多幸をお祈り致します。

## 近況報告 ～納 浩さん～

私は60歳経過後もティー・ティー・ビジネスサービズ(株)に勤務していたため、T・T・Bを退職した64歳でテックOB会会員になりました。

一昨年の年末には東芝テック(株)からインターナショナル・トイレツリース(株)(以下ITC社)への秦野工場の譲渡に立会いました。

その後、引き続きITC社に雇用され秦野工場の営繕を担当し2年目を迎えています。

北側のITC社との境界のブロック塀を崩し、1号棟用の受・配電設備を撤去、中水監視槽・貯水槽を撤去しその跡地に秦野工場とITC社との連絡通路2本が設置されています。

また1号棟南側の部品倉庫跡から2号棟にかけての空き地には100台以上可の駐車場ができました。

1号棟は化粧品の原材料、梱包材料、完成品などの倉庫として、2号棟は後述のインターコスメ(株)の化粧品、及びITC社の長期在庫部品の倉庫として使われています。

この10月からは2号棟4階の旧技術部のフロアを改築し化粧品の梱包ラインが設置され稼働しています。

1号棟内の一部にヘアケア化粧品をピックアップ・梱包して全国の美容院へ直接配送する関連会社インターコスメ(株)があり、その中では旧家電出身者が3名働いています。(男性1名、女性2名)お互い年齢が近く私も含め「70歳まで働こう」を合言葉にガンバッテいるところです。

趣味のエレキバンド(リズムギター担当)は、技量が維持できず3年前に辞めました。

現在は25年ぶりに紙飛行機の世界にはまっています。

目黒工場時代には紙飛行機専用の公園で飛ばしていましたが、秦野転勤により休止したのを再開しました。

今では月に1回(土曜日)紙飛行機専用の公園(武蔵野中央公園)に行って飛ばしています。

当初私が飛ばす紙飛行機のほとんどは「ホワイト

ウィングス」の商品名のシリーズもので、これは工学博士の二宮 康明 先生が航空力学をもとに素材から設計まで研究して作られた高性能の紙飛行機です。

紙飛行機の再開後はホワイトウィングス機の他に25年前にはなかった垂直上昇機も製作し飛ばしています。普通の紙飛行機の主翼の断面は曲線に湾曲させ揚力を得ていますが、(キャンパーという)垂直上昇機の主翼の断面は湾曲させない直線状で揚力は得られません。

ゴムカタパルトで垂直に30mほどの高さに到達させ空中に漂わせながら降下させます。

ちなみの普通の紙飛行機を垂直に飛ばすと揚力が働き引っくり返ってしまいます。

理論的には30mの高さから1m/秒ずつ降下できれば30秒間は飛んでいることになります。

ゴムカタパルトで垂直に飛ばすと主翼、胴体が横一直線となり見えにくくなります。

あわてて空を見回しても発見できずに見失うことがあります。(過去2機紛失)

飛ばしている方達は同年代の60代くらいの方が多く、最高齢では80代の方もおられます。

その最高齢の中には「ホワイトウィングス」の作者の二宮 康明 先生(86歳)もおいでになります。

紙飛行機をうまく飛ばすには図面通りに製作するのが重要ですが、また紙ゆえにどうしても発生する変形を現地でいかに矯正するかが大きなポイントです。

まあこんなことを少年時代に戻ったつもりで嬉々としてやって楽しんでおります。

いっぽう東海大病院裏の東名高速道路北側の丘陵地にある畑50坪を借り「野菜づくり」を始めました。

管理する方が亡くなれば荒れ放題になっている畑を管理を条件で無償で借用しています。

結果として絶えず草刈をするはめになっています。本年度は僅かですがトマト、なす、きゅうりが収穫できました。

まだ緒についてばかりで経験もないため、何年かかけて畑らしくしたいと思います。

原稿を書いている間にエレキバンド参加の誘いがあり、リズムギターの練習を始めました。



もうひとつやることが増えました。

仕事、紙飛行機の製作と飛行、畑作業そしてエレキギターと忙しく毎日を過ごしていく所存です。



## 「60の手習い」 ～旧所属 東芝テック SS 営推統 片岡 克己さん～

東芝テック OB 会の皆様には、お変わりなくお健やかにお過ごしのことと拝察致します。

学校卒業以来37年間お世話になりました東芝テックを昨年7月に退社し、在任中は公私にわたり、幾多のご鞭撻・ご厚情をいただきましたOBの方々にこの場をお借りし、深く感謝申し上げます。

さて、退職後の人生をどう過ごすか？この答えは50歳くらいから自分で決めていました。

社会からこれまでの職場含め私自身も大きな恩恵を受け、育てていただいた恩を、退職後は返さなければとの思いから、こんな私にも社会に貢献できる何かをしようと思っておりました。

そんな思いが通じたのか、退職後にすぐ名古屋市の市会議員通じ、社会福祉法人の保育園の理事を任せられ、社会問題となっている待機児童問題にも微力ながら取り組んでおります。

また、一宮市にあります真清田（ますみだ）神社より、刀剣保存会の理事、光聚山 瑞雲寺の護寺会の副会長など、やたら役職を得、日々忙しく



普段の練習風景

している次第です。

一方、在職中にはできなかった居合をやろうと、この1月に名古屋市に、無双直伝英信流の居合道場を立ち上げ、日々修練に励んでおります。60の手習いです。

長年、刀を振っておらず範士や教士に叱られる



2013年5月5日  
名古屋城古武道大会での演武

ばかりの日々ですが、自分の生きる目標として、また居合を通じ、青少年の健全なる精神と肉体の育成に、貢献できたらと思い友人と道場を立ち上げました。そしてこの5月5日には、名古屋城古武道大会に参加し、まだ未熟な演武を披露する機会を得ました。

そんなこんなで昨年退職してからのこの一年は、あっと言う間に過ぎ、これから更に忙しくなるとは思いますが、身体の続く限り社会貢献に少しでもお役にたてるよう、生きて行く所存であります。今は引きこもりの生徒指導の話もあり、新たな学校法人設立も計画しております。

最後に、東芝テックOB会の各位におかれましても、くれぐれも健康に留意され、残りの人生を謳歌していただきたいと存じます。

では、皆様お元気で・・・

## 犬と一緒に楽しい毎日 ～麻田 治男さん～

16歳まで長生きした先住犬が死んでからしばらくは我が家に犬はいませんでした。定年退職を機に、もう一度犬を飼おうということになりました。妻と息子がいろいろと見て回った結果、買ってきたのがイタリアン・グレイハウンド（略称、イタグレ）の男の子でした。生まれて2か月、元気な子で家の中を走り回っていました。散歩に出かけられる月齢になって近所の公園に行くと、ミニピンの友達ができて、相撲をしたり、追いかけてこをしたりするのが日課になりました。あまりにも走るの好きなので、もっと走れる場所はないのかとWEBで調べてみるとドッグタイムレースやルアーコーシングという競技のあることがわかりました。そういうイベントに妻や息子と一緒に参加するうちに、どんどんと深みにはまっていった過程をお話します。



ドッグタイムレースは50mの直線コースを走って速さを競うものです。犬種別にハンデを決めて2頭並んで競走するトーナメント戦もありました。土日に東京近郊で開催されていたので、かなり頻繁に行きました。勝敗だけでなく、犬好きの人たちとワイワイ話している時間も楽しいものでした。イタグレの男の子の部で優勝して日本一になったことはいい思い出です。

ルアーコーシングは、ルアー（疑似獲物）をモーターで引っ張ってそれを犬が追いかけるという競技です。イタグレはサイトハウンドという犬の種類に属しています。サイトハウンドは人間が鉄砲を手に入れるより前の時代に、動く小動物を追いかけて狩猟の手助けをしていた犬たちです。ウイペット（英国）、サルキー（アラブ）、ボルゾイ（ロシア）などがいます。イタグレは狩猟犬というよりはクレオパトラの時代から愛玩犬として飼われていましたが、サイトハウンドの仲間ですから散

歩中に鳩や鳥を見ると追いかけます。この子たちがルアーを追いかける姿は見事です。6Kgしかないうちの子でも100mを8秒台前半。ボルトより早く走ります。



こういう競技に参加してワンコも飼い主も楽しんでいましたが、多くは那須高原や御殿場などの地方で開催されて、一日かけても2走しかできないというようなものでした。それで、もっと気楽にワンコを走らせることができればいいなと思い、



仲間を集めて、「イタグレ・ルアーコーシングを楽しむ会 (IGLE)」というのを立ち上げました。モットーは気軽に！気楽に！気持ちよく！です。ルアーを引くモーターの入手にはテックの本研のメカ屋さんに技術的なアドバイスをもらったりして、アメリカからフォード車のスターターモーターを使った製品を輸入しました。赤外線の時計測装置も自作しました。

今では川崎の東扇島の公園でイタグレ限定のルアーコーシング大会を年に4回開催しています。また、別の団体と共同してドッグレスキュー支援のためのチャリティイベントも年2回開催しています。大震災の後は収益金を福島県動物救援本部に寄付したりもしました。こういう活動はメディアにも知れて、「愛犬の友」という雑誌(12年11月号)で紹介していただいたのは嬉しい限りです。いままでお話しした、走るのが好きな男の子は「コウ」という名前ですが、もう一頭、「サチ」という同じイタグレの女の子がうちにいます。この子は保護犬で、2009年にワンコ仲間から引き取り手を探すのを頼まれたのですが、そのままうちで引き取った子です。サイトハウンドとは言えないくらい走るのに興味のない子ですが、家の中ではコウより威張っています。ふたりとも今年6歳になりました。この子たちのお蔭でワンコ好きの人たちと家族ぐるみの付き合いができるようになりましたし、毎日が楽しい日々となっています。ありがたいことです。これからも元気で楽しませてくれることを願っています。なお、グーグルで「イタグレ コウ」を検索するとこの子たちの日記やIGLEの情報がありますので、興味のある方は是非ご覧ください。

以上



## わが清水エスパルスの記 ～三島函南支部 岩本 進さん～

今シーズンのわが清水エスパルスは14勝7分13敗で辛うじて勝ち越し勝点49で9位でした。リーグ戦とは別に行われたナビスコカップ戦では決勝に進出しましたが惜しくも鹿島に敗れ準優勝でした。

エスパルスが誕生し今シーズンで20周年にあたりますが私のサポーター歴も20年と成りますが、会社に在職中はなかなか時間がとれず日本平スタジアムには行けずにもっぱらテレビ観戦でしたが、定年退職してからは時間を見つけてリーグ戦は年間ホームでの試合は17試合ありますが10～12試合とカップ戦で2～3試合を家族や友達と見に行っております。

試合を見に行く際はキックオフの2時間前には観客席に着き弁当を食べたりピッチ場で小学生の練習試合やイベントを見学したり同行者とその日の先発メンバーの予想やどの選手が得点しそうか何対何で勝利するかと試合前に予想しモチベーションを高めて試合観戦に望みます。

試合が始まる瞬間はいつ見ても緊張しますが始まってしまうと試合だけに集中し頭の中は試合の事だけになります、エスパルスが攻撃し有利になった時や逆に相手チームに攻撃されたときは

思わず大きい声を張り上げてしまい我を忘れて応援しております、得点が入ったときは一緒に行った人はもとより回りに居る見知らぬ人ともハイタッチをして喜びます。

その日の試合が勝利したときはスタジアムのエスパルスサポーター全員でエスパルスの応援歌である“王者の旗”を大声で歌い気分がスッキリし帰りの足も軽やかですが、敗れた時は足どりは重くなり疲れて帰って来ます。

今シーズンのエスパルスのスタメン平均年齢は23歳で他のチームと比較しても非常に若いチームですのでその若さを来シーズンは多めに発揮し優勝に向かってもらいたいと思います。



## “癒しの集合体をめざして” ～藤田 秀明さん～

### 東芝テック谷田OB会活動状況

東芝テック谷田OB会は平成17年5月に結成され、今回で16回(8年・2回/年)を迎えました。このOB会は、「私たちの定年後の情報交換の場」として会員の親睦と相互啓発をはかることを目的とする自主活動のグループです。

健康に関すること(特に病気に罹り苦労した話、注意点、知識等)、趣味(特に野菜づくり、庭等)、政治の話、東芝テックOB会本部・支部の活動状況と活動への参加要請など多方面にわたり活発な意見交換をしています。

平成24年度の開催からは、お題を設定しました。

5月は「認知症について」、12月は「体力づくり」についての意見交換が行われました。

結成当時の会員は25～6名でしたが、いろいろな事情により20名に減少しました。

毎回12、3名のみなさんが出席しています。半年毎の集まりは、懇親を楽しみにしている会員が多く、それぞれが情報収集し、楽しい一時を過ごしています。

この会を長続きさせるために今後一回でも多く、一年でも長く継続して開催していくことが大切であると思っております。



## 陶芸十余年 ～西澤 公久さん～

陶芸にもいろいろな楽しみ方があろうかと思いますが、私の週末陶芸の楽しみ方を書いてみました。

所属した陶芸クラブは、なんでもありの自由が取り柄。

釉薬は濃淡だけでなく、2、3種類の釉薬を掛け分けしたり、重ねてかけたり、また、焼成の温度を変えたり、冷ましをゆっくりにししたりなどで色合い、風合いを楽しんでいます。

また、薪窯からガス窯・電気窯まであるので、作品をためては、仲間と相談して焼成の方法をいろいろと変えて使っています。

薪窯は、大物から小物まで、壺・傘立・食器などを作り、一日がかりで窯に詰め、ぶっ続けで一週間焚きます。薪窯での焼成は、薪の灰による自然釉と火の強さ流れ・還元炎による、いわゆる窯変が楽しみです。

ただ、当番が徹夜となると少々応えるようになってきたので、そろそろ限界です。

最近7～8年は粉引という楽しみ方に少々はまっています。

これは鉄分の多い赤土で器や皿を作り、まだ生乾きのうちに、(いろいろな石の粉や・土を混ぜた)泥漿をかけ、それを還元炎(不完全燃焼の炎)で焼成する手法です。

すると、これら材料の調合比率や還元炎の程度によりさまざまな色合いが出るのが楽しみです。フワッと薄いピンクが出たり、帯状に発色したり、はたまた灰色になってしまったりがっかりしたりと…。

たしかに、粉引はやり始めたら嵌るかもしれません。

私がこれまでに作った物は、壺や花器、ぐい呑み・茶碗類などのほか、茅葺の農家・古い本、太鼓・ホルンなどなど、土で形ができるものは何でもござれで、まさに土遊びで十余年が過ぎていました。

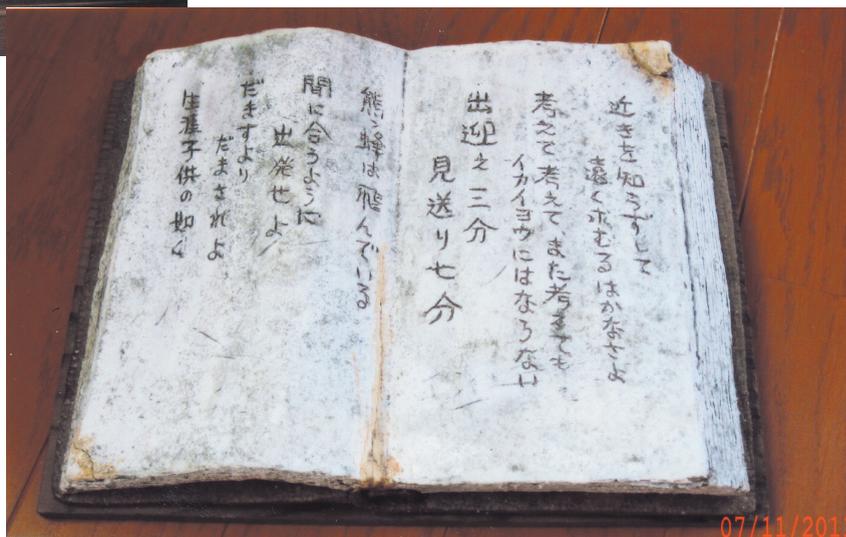
さあ あなたも 土遊びを始めてみませんか

粉引の作品例





茅葺の農家



焼きもので作った本

## 感謝を基に ～小原 昭さん～

遂に70代に。幸い健康で日々を暮らせてきました。そして自分の思い通りに歩んで来られたことを幸せに感じています。子供時代に貧困で多くの人の助けと国から育英金を受けて全日制高校まで出してもらいました。東芝テック退職後は自分の心の成長と社会への恩返しを基本に暮らしています。恩返しで最もウエイトの大きいのが美術館の説明員です。一年を通し



千人を超える人々から別れる時に素晴らしい笑顔と感謝の言葉を戴ける喜びは何にも変えられません。趣味で続けている尺八でも小学校の邦楽指導や施設へのボランティア、春や秋には発表会やコンサートを楽しんでもらっています。町の文化活動で芸能部門の舞台係もさせていただき、町民の発表会、プロのコンサートの舞台作りや進行に頑張っています。三島市の郷土研究会の一員として昨年は資料の発刊や市のバスで参加された皆さんに石造物のガイドをして箱根峠まで走った事も素晴らしい思い出になりました。自然農法の指導等にも携わり、日々を楽しく暮らしている今日この頃です。

# 会社の動き

## 2012年度の事業概況について

当連結会計年度の世界経済は、欧州において債務問題の長期化により景気が悪化するとともに、米国では本格的な景気回復には至らず、アジアでは総じて景気拡大テンポが鈍化いたしました。また、日本経済は、復興需要による下支えや昨年末からの円安等により一部に改善の動きが見られましたが、世界経済低迷に伴う輸出の悪化や個人消費の低迷などから、景気は厳しい状況が続きました。

このような状況下におきまして、東芝テックグループは「ソリューション・サービスによる成長」の実現を目指して、事業規模の拡大に努めるとともに、国内外においてリソースや資産の効率化に努めることにより、収益力の更なる向上に鋭意努めてまいりました。

また、東芝テックは、リテール市場において、高水準の商品・ソリューションをグローバルに展開するリテールソリューションのリーディング・カンパニーとなることを企図し、2012年8月1日付にて、International Business Machines Corporation (IBM) から同社のリテール・ストア・ソリューション (RSS) 事業を譲受けました。

連結業績につきましては、システムソリューション事業が好調に推移したことや IBM より RSS 事業を譲受けたことなどから、売上高は前連結会計年度比 15% 増の 4,036 億 93 百万円、営業利益は前連結会計年度比 47% 増の 158 億 85 百万円、経常利益は前連結会計年度比 66% 増の 148 億 67 百万円、当期純利益は前連結会計年度比 142% 増の 62 億 12 百万円となりました。

## 役員の紹介について (2013年6月27日現在)

### 代表取締役

取締役社長 鈴木 護 (社長執行役員)

取締役 犬伏 浩 (専務執行役員)・・・システムソリューション事業本部長

山本雅人 (常務執行役員)・・・グローバルソリューション事業本部長

池田隆之 (常務執行役員)・・・経営企画、ノベーション推進、IT戦略システム、IJ事業

### 推進担当

平田政善 (常務執行役員)・・・経営監査・J-SOX推進担当、財務部長

市原一征 (常務執行役員)・・・商品・技術戦略企画部長

竹谷光巨 (常務執行役員)・・・生産・調達本部長、品質・環境企画部長

深申方彦 [社外取締役]

監査役 池田浩之 [常勤]

北野 寛 [常勤]

大内猛彦 [社外監査役]

松本俊彦 [社外監査役]

常務執行役員 菅生 俊・・・システムソリューション事業本部副事業本部長、T T S S 取締役社長

執行役員 松本敏史・・・グローバルソリューション事業本部副事業部長、プリンティングソリューション事業部長

丹黒 浩・・・システムソリューション事業本部副事業本部長、営業推進統括部長、  
オフィスソリューション事業部長

川崎順一・・・グローバルソリューション事業本部副事業部長、リテールソリューション事業部長

財満冠典・・・システムソリューション事業本部東京支社長

麻生伸一・・・IJ事業推進部長

谷嶋和夫・・・輸出管理担当、経営企画部長

坂邊政継・・・総務・法務担当、イノベーション推進部長

野波英隆・・・グローバルソリューション事業本部営業統括責任者

川村悦郎・・・システムソリューション事業本部リテールソリューション事業部長

※詳細内容は当社ホームページで参照願います。

## HIMANA-Kunの「こんにちは～ おひさしぶりで～す。」シリーズ第2回 「渡辺 利伊さんをご自宅に訪問しました。」

今回は、第2回目の訪問として、伊豆の国市の田京にお住まいの渡辺 利伊さんを訪問しました。渡辺さんは、大変お元気で、お仕事、ゴルフ、ウォーキング、囲碁等と、いろいろなご活躍をされています。また、渡辺さんのお人柄から、多くの方々に慕われています。東芝テック時代は主として大仁工場に勤務され、機構関係の設計の中心的役割を果たされました。今回は、その中からいろいろなお話しを頂きます。

**HIMANA-Kun** 「渡辺さんには、現在多方面でお目にかかります。今日はいろいろなお話しを聞かせていただき東芝テックOB会のメンバーの皆さんが元気をもらえるようにお願いします。はじめに現在もお仕事をされているとのこと、確定申告にも関係のあることからお話しいただけますか？」

**渡辺さん** 「私は中小企業診断士の資格があります。そのため”やらまいか 技術・経営研究所”の代表として、いろいろな方の経営支援のアドバイザーをしています。それから株も楽しんでます。一番長いのは「共同馬主」になって、競馬も楽しんでます。」

**HIMANA-Kun** 「昨年大活躍の競馬の話は後にして、毎日毎日が忙しそうに思えますが。」

**渡辺さん** 「平日は、毎朝、8時から9時半頃まで、ウォーキングです。その後午前中は株の時間です。午後からは、近所で囲碁を昨年から再会しています。その間にゴルフを楽しみます。ゴルフの仲間は、家内や、地元の人たち、その他の人たちです。土曜日曜は競馬をテレビで見たり楽しんでます。」

**HIMANA-Kun** 「大変健康的な時間を過ごされているようですが、健康には気を付けていらっしゃいますか？」

**渡辺さん** 「そうですね。毎月1回は健康チェックのために通院しています。血圧や高脂血症、尿酸等のチェックです。」もうひとつ、去年は、4月に四国の88ヶ所めぐりをして、結願証を頂いてきました。」

**HIMANA-Kun** 「ゴルフの話に移りたいと思います。私も参加させていただいているのですが、テック天城会は、現在会員数は82名で東芝テックOB会の中でも最大級の会ですね。また絶えず新しい会員も参加してくれていますね。前会長さんとして何か秘訣がありますか？」

**渡辺さん** 「OBになって、会社にいた時の上下関係もなしにして、みんなが参加して楽しむことには配慮しています。それが、一番長続きしている原因かもしれません。そして忘れてはならないことですが、現在の会長の佐藤寿一さんが中心になって、頑張ってくれていることも大きな要因です。」



「四国88ヶ所 結願証を手にする渡辺さん



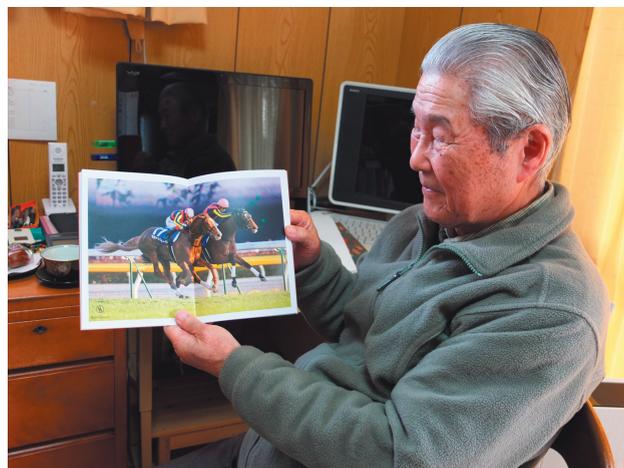
昨年11月のテック天城会で。中央が渡辺さん

HIMANA-Kun 「それでは、これからは、知る人ぞ知る「共同馬主」を中心に競馬の話に移りましょう。2012年度の競馬の年度代表馬で最優秀3歳牝馬に選ばれた「ジェンティルドンナ」は渡辺さんが共同馬主とお聞きしましたが、共同馬主とはどのようなものですか？」

渡辺さん 「馬主にもいろいろあるのですが、私の場合、1頭を40人で所有します。競馬の馬は出産・育成・出走迄を世話され、その後厩舎に預けられます。「ジェンティルドンナ」はお父さんが有名な「ディープインパクト」でお母さんは「ドナブリーニ」というイギリスから来た馬です。昨年は桜花賞、オークス、秋華賞、そして11月にはジャパンカップに優勝しました。こんな経験は初めてのことです。」



ジャパンカップで優勝した岩田康誠騎手



ジャパンカップ優勝時のパンフレットを見る渡辺さん

HIMANA-Kun 「今年も「ジェンティルドンナ」は活躍期待できますか？」

渡辺さん 「ドバイのシーマクラシック・宝塚記念・フランスの凱旋門賞・ジャパンカップ・有馬記念等々楽しみです。」

HIMANA-Kun 「いろいろなお話を聞かせていただきどうもありがとうございました。これからもご健康で充実した生活お祈りいたします。改めてありがとうございました。」

あとがき 色々なお話を多岐にわたって聞くことが出来ました。私は東芝テックの会社勤務時代には設計者の一人として渡辺さんからたくさんの助言を頂きました。私の尊敬するメカ機構の設計者の一人です。まだまだ内面のお話しまでお聞きしたかったのですが、今回はこれまでといたします。お話を終わって渡辺さんの人格の高さを感じつつ帰路につきました。

以上

# 支部ニュース

## 三島支部

### ●修善寺温泉史跡と文学散歩●

風が多少あったが雲ひとつない絶好の行楽日和のなか、修善寺温泉史跡と文学散歩ウォーキングが3月6日実施されました。

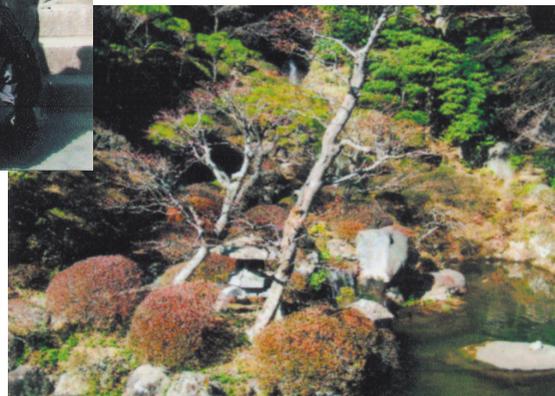
参加者31名は、修善寺駅からバスに乗り最初の目的地のもみじ林に着きました。

ここはもみじの季節(6月の新緑・10月の紅葉)は最高だそうです、残念ながら今の季節では駄目、33観音堂を横目に、富士山の展望地着、ここから見た富士山はとても綺麗でした。夏目漱石碑を見てから次に紅白に咲煮乱れた梅林を見、文学めぐり(中村吉右衛門句碑、高浜虚子句碑、修禅寺物語、尾崎紅葉句碑、市川左団次句碑)をしながら修禅寺で昼食・休憩後、源範頼の墓、赤蛙公園、しゅうぜんじ画廊、竹林の小径、指月殿などを見学、独鈷の湯公園で解散、ここからを自由行動としたところ、それはそれは歴史もののすばらしい“おかみのもちより雛と修禅寺庭園”を観賞する人、足湯に、はこ湯に浸る人などさまざまな光景が見られました。こんなに自然に恵まれていた、歴史のある修善寺を見てまわり参加者一同は異口同音に話していました“素晴らしかった一日だった”。

今回、案内していただいたボランティアの瀬川さん、山下さん、本当にありがとうございました。



修善寺をバックに参加者全員



修善寺の庭園



夏目漱石の碑



瀬川ボランティアによる説明



見事満開の紅白梅



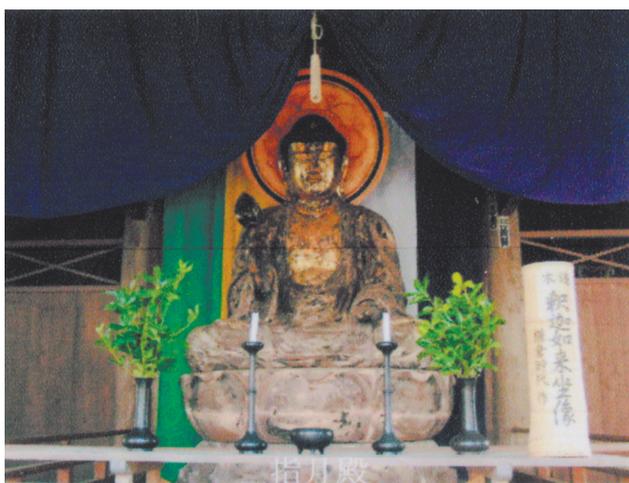
花と文学の散歩道



赤蛙公園



竹林の小径



指月殿  
指月殿



とっこの湯

## ● “新春ボーリング大会・カラオケ懇親会” ●

平成 25 年 1 月 25 日午後 1 時から 30 名の参加をえて、新春ボーリング大会とカラオケ懇親会が盛大に行われました

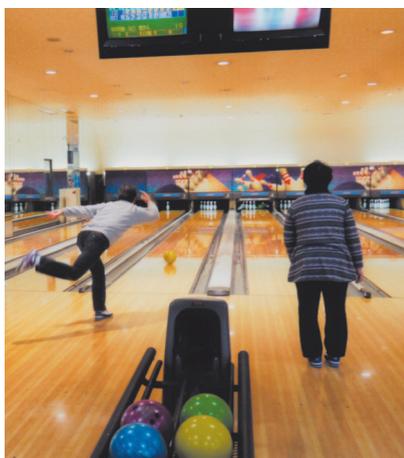
ボーリングは何年ぶり、何十年ぶりと言う人が多くいましたが、いざ始まってみるとハンディは微塵も感じずのびのびとボールを投げつけました。ストライクがでると飲み物が一本もらえるとあって必死でした。現役の頃を思い出したようで、それはそれは楽しい一時でした。

引き続いて行われたカラオケ懇親会は、全員が一室に入れないほど盛況で、一曲歌うのに大変だったようです。

この一日は OB 会会員の絆を計ることができ、次回もやってほしいと言う希望が多く、時の過ぎるのも忘れ日が暮れるまで行われました。



ゲーム前の参加者全員の勇姿



ナイス ストライク!



表彰の一幕

## 駿東支部

### ● 駿東支部の活動状況 ● 東 高司

～第 5 回総会開催～

爽やかな風も心地よい 5 月 22 日、支部として 5 年目の総会が和やかに開催されました。

総会では平成 24 年度の活動報告、会計報告及び平成 25 年度の活動計画が提案され出席者全員の賛成で承認されました。また来賓として出席された OB 会 杉之内会長から全体の活動状況、会員状況についてお話があり、新規退職者の加入促進にも力を入れて OB 会の活性化を図っていくとの力強いご挨拶がありました。会社からは静岡事業所を代表して池田総務室長様にご出席を頂き、会社の好調な業績や市場動向、海外事業

展開など積極的な経営施策などお聞きすることが出来ました。

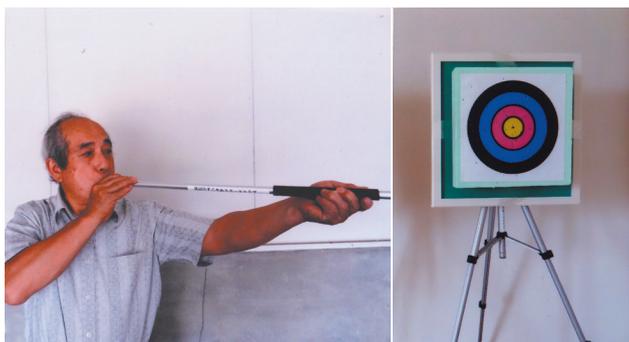
#### ～スポーツ吹き矢大会～

総会終了後、体育館に移動して、スポーツ吹き矢大会が行われました。高齢者でも無理なく楽しめて、健康づくりに効果があると全国的に広がりを見せている競技です。

米田幹事、勝又幹事、野際幹事が指導役となり一人ひとりにマウスピースが配られ、矢の詰め方、筒の持ち方、姿勢や呼吸法など実演説明し、コツを掴むための実践練習を行い、その後で競技に入りました。このスポーツ吹き矢をやるのが初めてという方が殆んどで、また賞品も出ると聞いてそれぞれ真剣な面持ちで競技に取り組んでいました。しかしながら思うように的には当たらず、大笑いの中で楽しいゲームに終始しました。2種類の的で採点しましたが見事優勝したのは61点を獲得した勝又さん、さすがは弓道4段の腕前、鍛錬された呼吸法が好結果につながりました。準優勝は54点で古屋さん、3位は青木さんでした。6位までが入賞で賞品が授与され大喜びでした。

#### ～懇親会～

ゲームの後は懇親会となりました。出席者の最高齢は82歳の下河原さん、今も元気に毎日、柿田川自然保護のボランティアに励んでおられ尊敬する先輩です。石井幹事の進行でひとしきり病気や健康談議が続いた後、近況報告の一部ご紹介としては、住み易い町として人気の長泉町で区長をしている涌嶋さん、多忙な中にも行政への架け橋としてやりがいを感じているとのこと、一方で人気が地価高騰につながり税金が上がるのは困るとの声も又切実なご感想、会社を退職して10年、妻孝行にあちこち旅行に出掛けていると門間さん、初孫の話で相好を崩しっぱなしの青木さん、今も仕事を楽しんでいる宇津木さんや原さん、花いっぱいボランティアを続けている菅原さんなど名前を呼び合い掛け声が飛び交う和気相合いの懇親会でしたが予定の時間いっぱいとなり次回の再会を約束しお開きとなりました。



## 東芝テックOB囲碁同好会会員の募集

OBの囲碁愛好者を募集しています。ご希望の方は下記の幹事にご連絡ください。

三島・大仁地区；植木 功夫 電話 055-975-2945

E-mail [mailto:uekiny@vc.tnc.ne.jp](mailto:mailto:uekiny@vc.tnc.ne.jp)

東京地区； 小山内 建紀 電話 046-232-5410

E-mail [mailto:osanai@nxyzbb.ne.jp](mailto:mailto:osanai@nxyzbb.ne.jp)

年会費；無し（大会の会費はあり）。

行事 ；年に2回大会実施（成績優秀者に賞金あり）

詳しくは、上記幹事にお問い合わせください。

## 《第20回 OBリレー首都圏ファミリーウォーキング》

東芝テックOB会・テック電子OB会・東芝テックソリューションサービスOB会 共催  
旧江戸東京散歩・第八弾

### 《江戸の名残、増上寺から戦後復興の顔、東京タワー周辺をめぐる歴史ウォーク》



- ① 開催日時：平成25年10月22日（火）11：00～16：00  
（当日6：55 AMのNHK気象情報の降水確率50%以上の場合は平成25年10月24日（木）に延期します）
- ② 集合場所：JR京浜東北線・浜松町駅北口改札口
- ③ 集合時間：10：30 AM受付開始～11：00 出発～
- ④ 参加対象：OB及びその家族、知り合い友人をお誘い下さい。
- ⑤ 参加費：一人300円／家族単位500円
- ⑥ コース案内人：鎌田芳郎（東芝テックOB会）



- ⑦ 予定コース：JR浜松町北口～旧芝離宮（老中、大久保忠朝ただとも、下屋敷）～芝大神宮（1005年創建、将軍家の崇敬があつかった）～三解脱門～増上寺（将軍家菩提寺）・・・（お休み処で昼食）～徳川家霊廟～黒門～芝公園（旧増上寺南、御霊屋おたまや）～芝東照宮（家光が植えた大銀杏）～東京タワー（昭和33年完成、333m）～青松寺（1476年太田道灌の開基）～NHK放送博物館（大正14年最初のラジオ局）見学～愛宕山神社（1603年幕府により火防ひぶせの神として建立、出世の石段が名跡）～浅野匠頭終焉の地～烏森神社～JR新橋駅（汽車広場）解散・・・（全コース約7K・・・11,000歩）

- ⑧ 申込先・方法：下記幹事にE-mail又は電話・Faxにて、住所、氏名、電話、最終所属をご連絡下さい。

- ⑨ 申込締切：平成25年10月14日（月）

- ⑩ その他、持参品：お弁当・健康保険証、雨具・・・  
解散後希望者は新橋駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定。



塚原 仁	TEL/FAX: 042-364-8397	E-mail ICK59860@nifty.com
鎌田芳郎	TEL/FAX: 03-3771-0057	E-mail kamayosi@zj8.so-net.ne.jp
TTSS OB会	TEL: 03-5245-9001 FAX: 03-5245-3494	E-mail TTSS_OBkai@toshibatec.co.jp
吉田昭太郎	TEL: 0463-58-8610 FAX: 0463-26-3075	E-mail shotaro.yoshida@nifty.com

# インターネットで「東芝テックOB会のホームページ」を楽しみましょう。

前号でホームページが見れるようになったと思います。

そこで第2回目は、今の「東芝テックOB会のホームページ」を楽しんでみていただきたいと思います。かつて一緒の職場で働いた人たちの元気な記事に会えたりしますので、楽しんで下さい。

前号で紹介したホームページの表紙をもう一度出して見ます。



中央の5重の輪になって手をつないでいるデザインは、関連会社の若い女性のデザイナーの方に作っていただきました。年代の違う友達が仲良く一緒に手をつないで楽しんでいるOB会の一面を表しています。この絵の左側は、主にOB会の事務局からのお知らせが出ています。

「OB会だより」の欄には、過去の第10号のバックナンバーから掲載してあります。第24号の記事からはカラーで表示してあります。印刷では白黒になりますが、カラーですので少し違った印象が出せると思っています。例えば、第25号の会員の広場にあります稲葉 和男さんの「てまりと私」の記事は、作品のてまりが極彩色ですのずっと臨場感が味わえます。

現在重点的に進めている「支部」での活動の内容も掲載されています。地域でまだ支部に属して無いメンバーの方が有りましたら是非参加してみてください。

また、「訃報」の欄がありますが、事務局にご連絡いただいたら、すぐに掲載できるように自動化して有ります。

右側は、主に会員の皆さんからの記事が主体です。

ゴルフや囲碁、ウォーキングの記事が多くあります。これから、皆さんが、小さいグループで活動していることが有りましたら是非投稿ください。

「会員のホームページ」の欄には、OB会のメンバーでご自身でホームページを持っていらっしゃる方の、ホームページをここから見る事が出来るようにリンクをしています。

東芝テックのホームページにもこの欄から移る事が出来ます。

# 事務局より

## 《会員の状況》(H24/10-H25/7)

### ☆新会員

風間敏雄さん、伊東信一さん、小室幸枝さん、遠藤寛信さん、石井裕基さん、岸野安一さん、菊池敏郎さん、小坂博久さん、鈴木 勲さん、渋谷末松さん、高橋邦夫さん、本田 稔さん、水島真一さん、横田和久さん

### ☆逝去会員

大熊康弘さん(H25/7)、 新井康敏さん(H25/6)、 吉田幸丸さん(H25/6)、 小俣克己さん(H25/6)、  
小河安德さん(H25/5)、 菅沼貞二郎さん(H25/5)、 上村皓二さん(H25/3)、 海老塚勉さん(H25/2)、  
山中孝之さん(H25/2)、 駒井喜雄さん(H25/1)、 戸田和男さん(H24/12)、 三田義徳さん(H24/12)、  
田中和水さん(H24/10)、 飯田俊彦さん(H24/10)

## 《年会費お振込みのお願い》

既に送付させていただいております2012年度年会費(2千円)につきましては、2013年7月末までにお振込願います。

注1. 終身会員の方(数え年85歳以上)は、年会費免除となります。

2. 昨年度(2011年度)以前に年会費未納がある方に対しては、2012年度年会費分と併せてお支払願います。(郵便振込用紙の金額欄には、未納分と2012年度年会費分を併せた金額を記載しております)

## 《会員の広場原稿募集》

会員の皆様から原稿を募集しています。

「今、ハマっていること」や「旅の思い出」などどんなことでも結構ですのでふるって投稿して下さい。

◆文字数・・・400字程度

◆写真・・・写真等2枚程度(本人が写っている写真を必ず入れて下さい)

◆送り方・・・直接原稿を郵送していただくか、メールにて投稿して下さい。

## 《OB会だよりの発行について》

ご承知のことと存じますが、会報の発行は年3回を目標に努力してきましたが資金不足のため、当面今年より年2回に変更しました。従って次号27号は今年の12月末となりますのでご了解下さい。

## 《事務局変更》

2012年4月よりOB会事務局の担当が亀石晋平から酒井賢治に変更となりました。微力ながら、OB会活動のサポートに誠心誠意努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。